

資材は2万で十分か？ 一完一

秋津洲かも

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

イベントの参加を決意した提督のやるべきこと

それはレベリングか

装備開発か、それとも大型建造か

永遠に見つからないその答えを求めて提督はあがき続ける

そしてついに・・・イベントの日を迎えた

提督と艦娘たちの過酷な戦いが始まる

# 目次

資材は2万で十分か？	1
イベント開始！	7
イベント完結！	16

資材は2万で十分か？

提督掲示板 Ver1.02

『イベントって各資材どれくらい必要？』

1：◆新人提督2016/02/05（金）09：30

はじめてイベントに参加するんだが各資材どれくらい必要なんだ？

2―4を突破したばかりの新人提督なんだが

2：名無しの提督2016/02/05（金）09：30

ググレ

3：名無しの提督2016/02/05（金）09：31

「だから各資材2万で十分なのよ」古事記にそう記されている

4：◆新人提督2016/02/05（金）09：32

▽3

thx古事記なら安心できるな

2万か、丁度上限値がそれくらいだから特に無理に遠征を回す必要はないのか

ありがとう、ちよつと艦娘の練度上げてくる

5：名無しの提督2016/02/05（金）09：35

おい1どこいった？戻ってこい！

冗談だつてば鵜呑みにすんなし！

正式名称 新海域突入作戦（通称：イベント）  
イベントとは新たに発見された海域に全力で突入する、いわば提督たちの修羅場

各提督が一丸となって深海棲艦の掃討を行い、普段の海域攻略とは比べ物にならないほどの難易度海域を駆ける

そして通常の6隻編成の枠を超え、12隻の連合艦隊を組み、加え

て航空支援や砲撃支援が必要となる

当然のごとく、ひとたび作戦が開始されれば資材はみるみるうちに減っていき、その様は選り抜かれた提督でさえ恐怖を感じずにはいられない

しかしそこで得られるものは通常海域とは一線を画し、提督たちの自尊心をこれでもかたくすぐる

その一つが古豪の提督たちの胸にきらりと光る各種勲章であり、それはイベントを突破した証である

なによりも深海棲艦に捕らえられている未だ見ぬ艦娘の助けの声を聞いて黙っていられない提督は多いはずだ

イベントにおいて最も重要なもの、それは『正しい情報』に他ならない

「提督、どうなのだ？ 赤城達と練度上げに行きたいのだが？」

「ああ長門、調べてみたんだが各資材は2万あれば十分だそうさ。うちの鎮守府の資源の上限が約2万だから心配ない。大いに練度上げに励んでくれ」

「了解した。初のイベントまであと1週間、胸が熱くなるな。提督の期待に応えられるように今は腕を磨くことに集中する。では長門、出撃する！」

「ああ、気を付けて行って来いよ。小破したらバケツも使っていないぞ」

ふう、長門たちは行ったか

2―4海域を突破して一段落ついたし、ここでちよつとイベントに参加するのも良い頃合いだ

戦艦と空母が充実してきた今こそ自分の力を試してみたい

ドッグスペースも4つに拡張したし抜かりはないだろう

そして資材の上限値もはや2万に迫る勢いだ

いや待てよ？ 資材はいいがバケツはどうだろう、1000あれば十分だろうか？

ふむ、困った時こそ提督掲示板だ

『イベントでバケツ1000あれば十分だよな?』

1:◆新人提督2016/02/05(金)09:38

はじめてイベントに参加するんだがバケツはどれくらい必要なんだ?

2-4を突破したばかりの新人提督なんだが

2:名無しの提督2016/02/05(金)09:38

100ワロスww

3:名無しの提督2016/02/05(金)09:39

なんとという情弱提督ww

4:名無しの秋津洲2016/02/05(金)09:39

E-1だけならいけるかも!

5:◆新人提督2016/02/05(金)09:40

>>>4

ありがとう秋津洲、今110ちよつとあるから心配なくていいよな

ちよつと使う予定があるんだ、安心したよ

(E-1って何かの略か?今度調べてみよう)

繰り返しになるがイベントにおいて一番重要なのは『正しい情報である』

事前に大本営から送られてくる情報をあてにしてはならない

小規模作戦と呼ばれた作戦において、箱を開けてみればおぞましい禁忌が飛び出してくることもある

そのような状況の中、イベントを前にして提督たちは藁にも縋る思いで必死に情報をかき集める

そしてある提督は涙ながらにイベントへの参加を見送り、ある提督

は艦娘の助けを求める声に向かって進む決意を固める

しかし、普段から提督にはやるべきことが山ほどにある

艦娘の練度向上のために出撃を繰り返し、次に待ち構える難関海域に向け新たな艦娘の建造、装備の開発

遠征を回し続けても資材の量は一進一退の攻防を続け、そんな慌ただしい日々の中、魅力的な艦娘の声が響くのだ

「よし、やるからには一番最初にイベント海域をクリアしてやる。ふう、ちよつと休もう」

「はい、お茶を入れますね提督、お待ちください」

「あ、吹雪。冷蔵庫の中にアイスがあるからそれも頼む」

「はい、え．．．これ間宮アイスじゃないですか？本当に食べていいんですか？」

「うん、任務してたら手に入ったんだが使い方がいまいち分からないんだ。いい機会だから食べよう」

「やったー！提督、ありがとうございます」

あんなに飛び跳ねちゃって吹雪は本当に嬉しそうだな

お、パンツが見えた

ふう、さてとイベントの編成はどうするか

『次のイベントは戦艦と空母が育つてれば十分だよな？』

1：◆新人提督2016/02/05（金）09：47

はじめてイベントに参加するんだが艦娘の練度はどれくらい必要なんだ？

2—4を突破したばかりの新人提督なんだが

2：名無しの提督2016/02/05（金）09：50

編成をアップしてくれんとなんとも言えんな

3：◆新人提督2016/02/05（金）09：51

画像を上げるってことか？

すまん、やり方が分からないんだ

司令部レベル81で長門、扶桑、山城、伊勢、赤城、蒼龍で平均レベル35だ

4：名無しの提督2016/02/05（金）09：53  
なんで司令部レベルそんなに高いんだwww

5：◆新人提督2016/02/05（金）09：54

>>>4

ずっと1―5で潜水艦狩りしてたら上がったんだ

6：名無しの日向2016/02/05（金）09：54

まあ、そうなるな

7：名無しの提督2016/02/05（金）09：55

3―2攻略どうすんだワロスwww

8：◆新人提督2016/02/05（金）09：57

イベントは行けるかどうか教えてクレメンス

9：名無しの飛龍2016/02/05（金）09：58

慢心、ダメ！絶対！

10：◆新人提督2016/02/05（金）09：58

>>>9

慢心しなければいけるってことだな、ありがとう飛龍、頑張るよ

これが1年前の私の姿

自らの練度を自覚せずにイベントというブラックホールに侵入した者は、勇敢であったとはいえるが、頬はくぼみ痩せこけ、その目にはもはや生気が感じられない

一方でイベントの参加を見送った提督は鎮守府の運営自体は順調であるが、貴重な艦娘を助けられなかったという自責の念にかられる

『無謀な勇敢さ』と『己の無力を知ったが故の英断』

どちらが正しいのだろうか

『資材は2万で十分か』



この問いは永遠に提督掲示板から失われることはない  
提督が、貴方がイベントへの参加を決断したのならば十分な準備を  
しなければならぬ

ふむ、10時かちよつと休憩しよう

執務室の扉が乱暴に開かれ暇を持て余していた金剛がやってきた

「丙提督ウー！乙かれ様デース！甲茶を飲みまショー！」

さあ、備えよう

## イベント開始!

正式名称 新海域突入作戦 (通称：イベント)

大本営からの開始の連絡を受けると新人提督はその荒波に向かい真っ先に飛び出した

「提督、作戦難易度はいかほどに致しましょうか？ 出発前に大本営に打電する必要があるのです」

「難易度ですか。えーと確か甲乙丙で甲が一番難しいとか」

「当鎮守府の司令部レベルは現在81なので甲作戦に参加可能です」

「では大淀さん、甲作戦で頼みます」

「はい、分かりました。ご武運をお祈りしております」

甲作戦、それは最も難易度の高い作戦であり、司令部レベル80以上の鎮守府しか参加することを許されない

とある理由で新人提督は不幸にも艦隊の実力とは裏腹にその基準をクリアしていた

準備は万端、事前情報から初戦は潜水艦部隊との戦闘が予想される  
当鎮守府の対潜精鋭部隊は伊勢、隼鷹、五十鈴、時雨、島風、夕立の6人、いずれも鎮守府きつてのベテランである

ソナーや爆雷、艦攻そして瑞雲を満載し出撃ドックでミーティングを行う

「みんなはじめてのイベントで緊張しているかもしれないが、いつも通りやればきつと勝てるはずだ」

「おつそーい提督！早く行こうよ！」

「潜水艦相手なら五十鈴にお任せよ」

「瑞雲を飛ばして突撃、そうよね日向」

「よし、ではいくぞ。時雨かわいい鎮守府、E-1攻略艦隊出撃する  
！」

「「応!!」」

6人と提督は円陣を組み気合いを入れる

難関海域に出陣する際には必ずこの儀式を行ってきた

そしてついに出撃、その先には普段とは違う赤みがかった海と空が

広がる

行く末を示すようなその光景に一抹の不安を抱えながら作戦指令室に戻ると、提督は言いようのない胸騒ぎを覚えパソコンに向かう

## 提督掲示板 Ver1.02

『甲作戦つてどれくらい難しいんだ?』

1: ◆新人提督2016/02/10(木) 21:30

はじめてイベントに参加するんだが甲作戦はどれくらいの難易度なんだ?

2: 名無しの提督2016/02/10(木) 21:31

攻略中に頭皮に深刻なダメージが及ぶくらい

3: 名無しの提督2016/02/10(木) 21:33

それでも大本営からの特別報酬は魅力的だな

アメリカ製の新しい主砲が気になるにやしい

4: ◆新人提督2016/02/10(木) 21:34

◇3

そうか、高難易度でないと特別報酬がもらえないんだな

甲作戦でいま艦隊を出撃させたんだ

5: 名無しの提督2016/02/10(木) 21:35

対潜装備しかしてないから道中が若干不安だな

彩雲は装備してきたがきつい

6: 名無しの提督2016/02/10(木) 21:38

潜水棲姫固すぎ

反航戦じゃ勝機は薄いな

祈ってT字有利でクリティカルを待つしかない

7: 名無しの提督2016/02/10(木) 21:40

四式積んでも攻撃通らんぞ！どうなってるんだ！  
輪形陣で軽空母のクリティカル待った方がいいかな

イベント開始直後のマップは情報が事前に手に入る通常海域とは異なり、まさに未知の領域である

一寸先は闇、恐怖と期待が入り交じる中を手探りで進まなければならぬ

編成、装備、陣形の全ての判断が提督一人の双肩にかかる

慎重な提督達は先発の変態的な練度を有する鎮守府から情報をもらい受け、自分の鎮守府に適したスタイルで出撃する

変態的な先人たちは恐るべきスピードで攻略の最適解を導き出し、後続に光を照らす

その光を手掛かりに進むことが最も懸命な判断であることは間違いない

しかしイベント開始直後の沸きたつ高揚感に抗うことは難しい

これまで数カ月間準備を重ね、ある者は心に前回のリベンジを誓い艦隊の練度を磨いてきた

不確かな環境において自分の力を試してみたい、自分自身の力で前に歩みたい、そう思うのも人間の心が故に仕方がないことである

しかしイベント開始時には不思議な現象が勃発する

『猫』と呼ばれる常識外の存在により、出撃していた艦隊が突然光に包まれ、気付いたときには鎮守府に帰投しているのだ

新人提督はその若さが故か、幸いその現象に遭遇することはなかった

「見つけたよ」

時雨が爆雷を投下するとソナーから艦影が消え、深海棲艦の気配が

薄れていく

敵潜水艦の先制攻撃を避け、瑞雲による攻撃を皮切りに次々と攻撃を成功させ見事無傷で初戦を勝利で飾った

「ひゃっはー！楽勝だねえ。この調子でばんばん行こう！」

「夕立も頑張るっばい！」

「よし、このまま進撃するよ。勝利を携えて鎮守府に帰還するんだ。そうすれば提督もきつと・・・」

出撃前とは一転してリラックスしたムードが艦隊を包んでいる

彼女たちは命令があればどんな困難な海域にでも出撃する

提督に選抜部隊に選ばれたことは涙がにじむほどに嬉しく、また誇りに感じる

そして提督の喜ぶ姿、ただそれだけを求めて戦場を駆ける

しかしはるか水平線の先、禍々しいオーラを放つ水雷戦隊が彼女たちを待ち構えていた

『イタタ、だから装甲は薄いんだってば！』

『ばかー！これじゃあもう戦えないっばいー！』

『提督！艦隊の被害甚大！隼鷹さんと夕立が大破！鎮守府に帰投するよ』

「・・・分かった。戻って来てくれ」

あっけなく希望は打ち砕かれ、背中を冷たい汗が這う

こんなはずではなかった、自分はどこで判断を間違った

あと一步で艦娘たちは轟沈するところだった、今回退避できたのは

運が良かったに過ぎない

なんとか鎮守府に帰還した6人は艤装のあちこちが砕け満身創痕の状態だった

すぐさま入渠を指示し、バケツ6個の使用を許可する

提督はその痛ましい姿を見て初めて自身の慢心を自覚した

ちくしょう！新しい艦娘がなんだ！新しい装備がなんだってんだ

！

自分の使命は艦娘を無事に鎮守府に帰らせること

欲に目がくらみ大事な娘たちをなおざりにしたことには後悔の念だ

けが膨らんでいく

でも・・・けれどもイベントの完走だけはさせてやりたい

今ここでイベントから手を引けば間違いなく彼女たちは自信を失い、二度とイベントに参加することはないだろう

机の脇の受話器を取ると短縮ダイヤルで呼び出す

「はい、甲作戦から丙作戦への変更をお願い致します」

この判断が功を奏し3時間後、誰一人欠けることなくE―1を攻略することができた

6人は深海棲艦に囚われていた駆逐艦清霜を救い、鎮守府への帰還を果たした

提督は衰弱した清霜のまだあどけない姿を見て涙を流さずにはいられなかった

はじめてのイベント、そしてはじめてのドロップ艦、この子を大切にしよう、そう深く心に誓った

『E―2の編成はみんなどうしてるんだ??』

1 : ◆新人提督2016 / 02 / 11 (金) 09 : 38  
なんとかE-1丙を攻略したんだがE-2の編成はどうしたらいいと思う？

スタート地点が2つあるんだが

2 : 名無しの提督2016 / 02 / 11 (金) 09 : 38

礼号組一択

3 : 名無しの提督2016 / 02 / 11 (金) 09 : 39

同じく霞旗艦で上ルート

4 : ◆新人提督2016 / 02 / 11 (金) 09 : 39

礼号組はまだ足柄さんしかいないんだ

なんとか頼む、皆に完走させてやりたいんだ

5 : 名無しの提督2016 / 02 / 11 (金) 09 : 40

そう言われてもなあ

上ルートの方が絶対に楽だし

礼号組抜きでの上ルート編成はまだ確定していないっぽい

6 : 名無しの秋津洲2016 / 02 / 11 (金) 09 : 40

下ルートなら戦艦・空母・重巡(航巡)×2・駆逐×2がおすす

め

7 : ◆新人提督2016 / 02 / 11 (金) 09 : 40

>>>6

ありがとう秋津洲、恩にきる

頑張るよ

それから数日間、提督は慢心を改め資材集めとバケツ収集に奔走した

加えて忙しいのを承知の上で先輩提督に連絡を取り、正しいと思われる情報を手にし独自に分析した

食事もとらずに作戦要綱を一語一句逃さず隅々まで目を通し、先人

たちの情報に基づいて編成・装備についての研究を重ねる

提督執務室からは日中夜を通して明かりが消えることはない

提督の顔は髭が伸び、疲れに頬が窪んでいたがその表情は使命感に燃え、瞳の奥には炎が灯っていた

これも全て愛する艦娘たちのためだった

「テイトクーー！もどったでち！」

「良かった！ゴーヤ無事だったんだな」

ゴーヤは自慢のスクール水着をぼろぼろにしながらも人懐っこい笑顔を絶やさず報告する

「偵察完了でち！初戦は潜水艦でち。にらめっこして、そこから北東に進んだらたくさん爆弾が降ってきたでち」

「爆弾が降ってきた？！どういうことだ？」

「よく分からないでち。ゴーヤは潜ってたから爆弾は命中はしなかったの」

「そうか。敵の陸上からの攻撃かもしれないな」

「そこから戦艦とぶつかつたでち。駆逐艦もいたから爆雷攻撃を受けて危なかつたでち。さらに進んだらまた爆弾が降ってきたでち」

「ふむ、爆弾が2回あるのか」

「これも潜って躲して北へ進んだら小さい魚雷艇に遭遇して、追いかけてまわされながらなんとか帰ってきたでち」

「ゴーヤありがとう、大分情報が集まってきた。これでなんとかかなりそうだ。入渠が終わったら間宮さんで好きなものを頼んでいいからな」

ゴーヤの頭を撫でてやると海水に濡れ若干ごわごわしている

それでも感謝の気持ちを込めて手を優しく動かしてやるとふとゴーヤの頬から滴がこぼれる

本当は怖くてしようがなかったのだろう、済まなかった、ありがとう





ええっ?ちよつと私?

364:名無しの秋津洲2016/02/15(月)20:40

秋津洲はボスマスでゆつくり二式大艇ちゃんの整備でもして待つ  
てるかも

365:◆新人提督2016/02/05(月)20:43

みんなありがとう!

無事E-2を突破できた!!!

366:名無しの初月2016/02/05(月)20:45

おめでどう提督

僕は防空駆逐艦初月だ

これからよろしくお願いするよ

## イベント完結！

正式名称 新海域突入作戦（通称：イベント）

なんとかE―2海域を突破した提督と艦娘たちは次に待ち構える最難関海域E―3へと進もうとしていた

最初は作戦準備のための輸送作戦、前線に近い島に補給物資を運び最終決戦の足掛かりとする

その輸送作戦の根幹を担うのがドラム缶、そしてそれを運ぶ駆逐艦たちである

数十個に及ぶ燃料・弾薬を満載したドラム缶をロープで結び、その一端を駆逐艦の艀装に巻き付け引っ張る

当然のことながら輸送に従事する艦娘の戦闘能力は激減する

そこを狙われて深海棲艦に攻撃されたりひとたまりもない、そこで警備する艦娘を周囲に配置し輸送船団を護る

そう、E―3はこのイベントで連合艦隊を編成する最初の作戦となる

潜水艦による先行偵察はできず確たる情報が少ない

この提督にとって通常の6名を超えた12名編成の連合艦隊は未知の領域であった

### 提督掲示板 Ver 1.02

『連合艦隊ってどうやって編成するんだ？』

1：◆新人提督2016/02/25（木）09：30

E―3まで来たんだが連合艦隊ってどうやるんだ？

2：名無しの提督2016/02/25（木）09：31

編成画面で第一艦隊と第二艦隊を合体させる

詳しくは大淀さんに電話で聞いてみる

3 : 名無しの提督 2 0 1 6 / 0 2 / 2 5 (木) 0 9 : 3 3  
支援艦隊も忘れるなよ

むしろ支援艦隊の方が重要

4 : ◆新人提督 2 0 1 6 / 0 2 / 2 5 (木) 0 9 : 3 4

◇ 2 . 3

t h x

大淀さんに聞いてみる

支援艦隊？

聞いたことないんだが

5 : 名無しの提督 2 0 1 6 / 0 2 / 2 5 (木) 0 9 : 3 5

第3・4艦隊で直接出撃せずに後方から砲撃支援するんだ  
詳しくは大淀さんに聞いてみる

6 : 名無しの提督 2 0 1 6 / 0 2 / 2 5 (木) 0 9 : 3 8

この提督大丈夫か、あと4日だぞ

7 : 名無しの提督 2 0 1 6 / 0 2 / 2 5 (木) 0 9 : 4 0

まだ4日あるとも言える

いけるだろ

ブラウザを閉じた提督は早速、本部の大淀に電話をすることにした  
呼び出し音が2回、3回と続き、ようやく受話器の上がる音がした  
『はいこちら本部、4スロットの夕張です』  
「あの新人提督と申します。大淀さんはいらっしやいますでしょうか？」

『申し訳ありません。大淀でしたらロケットランチャーを持って集積  
地棲姫狩りに出ております。どういったご用件でしょうか？』

耳を澄ませると向こうの電話口の背後から何か声が聞こえる

「ヤメロー！モエテシマウ！グスツ…セツカクアツメタノニイ！」  
「へそうはいきません！ロケットランチャー発射！」

へウオオオ！ヤメロツテ！モウコツチクンナヨ！…ウワアー…  
!!!

必死に攻撃中止を訴える深海棲艦の泣き声が耳に入るが聞かなかったことにした

「…ええとE-3海域に行くので連合艦隊の組み方と支援艦隊ついて教えてほしかったのですが」

『そうでしたか、もしよろしければ私がお教えしますよ』

第一艦隊にはドラム缶輸送のための駆逐艦4隻を中心とした輸送艦隊

第二艦隊には輸送中の彼女たちを守るために歴戦の水雷戦隊を配置

加えて別動の支援艦隊が2組、ボスにたどり着くまでの砲撃支援を担当する道中支援艦隊とボスとの決戦に備えた決戦支援艦隊

一艦隊が6名、四艦隊、合計24名の艦娘たち

い 一度にこれだけの人数の指揮をとることは並大抵の提督には難しい

通常の海域であれば少数精鋭の6名を選び、高練度の艦娘たちは練度相応の結果を残すことができる

しかし24名ともなれば練度の高くない艦娘をも前線で戦わせなければならぬ

イベントは少数精鋭ではなく鎮守府の総合力が試される

日頃お気に入りの艦娘ばかりを員負している鎮守府はここで苦しむこととなる

いかに高練度の艦娘が敵に大打撃を与えようとも、一人でも誰かが大破すれば一度鎮守府に帰投せざるを得ない

24名、それぞれの役割を明確にし、誰が何が得意で何が苦手なのか、普段の艦娘とのコミュニケーションが重要となってくる

「珍しく前線に引つ張り出されたと思ったら、なんであたしがこんなことしなきゃなんないのよ！」

第一艦隊に所属する駆逐艦満潮は悪態をつきながらも必死にドラム缶を曳行していた

多数のドラム缶は予想以上に重く駆逐艦の小さい体では思うように速度を出せない

寒々しい木枯らしが海上をかけるも自然と額に汗がにじむ

強力で凶悪な深海棲艦がどこかに潜んでいるという緊張感、そして慣れない連合艦隊での行動に四苦八苦の艦娘たち

物資を抱え遅々として進まない低速艦隊は恰好の標的となる

その予感は的中した

「対潜戦闘用意!!…反航戦!第一警戒序列へ陣形変更!」

先行する第二艦隊の旗艦から無線連絡が入るとすぐさま陣形変更の準備を始める艦娘たち

しかしいづれの艦娘も敵が潜水艦であることに普段の単横陣をイメージしてしまい初動が遅れた

慣れない陣形変更に戸惑う中、敵潜水艦の先制魚雷が迫ってくる

運良く全ての魚雷を躲すも隊列は大きく乱れ、対潜装備を一切持たないドラム缶組に敵が迫ってくる

混乱した第一艦隊が大した反撃もできないまま、敵魚雷の第2派は満潮たち、ドラム缶組に狙いを定めていた

「2時の方向から魚雷第2派接近!回避急いで!」

満潮の視線に雷跡が映り、咄嗟に回避運動を始めるも腰に繋がれたドラム缶がそれを邪魔する

ドラム缶を投棄しようかと悩むも、この輸送作戦が24名の、そして鎮守府の未来を握っている

そう思うと体は動かなかった

弾着

『提督、敵魚雷により夕立が大破しました。ご指示を』

一戦目の戦鬪で満潮をかばった夕立が大破、なんとか敵潜水艦をやり過ぎることができた

その報告を受けて提督は思いがけず悪魔の誘惑に心を揺さぶられた

連合艦隊そして支援艦隊を含めた24名の運用には膨大な資材が必要となる

かつてないスピードで減り続ける資材の状況に提督は半ば混乱状態にあった

イベントを攻略できなければきつと同期の提督たちに笑いものにする

『提督？聞こえていますか？早くご指示を！』

そんな光景が頭を掠め、ふと『進撃』指示のボタンに手が向かうとする

24名の内のたった一人、その一人が再び攻撃を受ける確率は普段よりも遥かに少ない

連日の指揮による疲労が確実に判断力を低下させていく

進撃しても大丈夫なのは？

『進撃』の二文字が魅力的に輝く

『E―3の輸送作戦中なんだが一人大破で進撃しても大丈夫だよな？』

1：◆新人提督2016／02／25（木）10：38

第二艦隊の駆逐艦が大破してるんだが進撃しても大丈夫かな

2：名無しの提督2016／02／25（木）10：38

絶許!!

3：名無しの提督2016／02／25（木）10：39

ふざけんな！てめえそれでも提督か！

4：名無しの提督2016／02／25（木）10：39

取り返しのつかないことになるぞ！

今すぐ撤退しろ！

5：名無しの提督2016／02／25（木）10：40

艦娘が可哀想だ

お前に提督の資格は無い！

提督辞めちまえ！

6：名無しの秋津洲2016／02／25（木）10：40

一度落ち着いて深呼吸するかも！

艦娘は一度轟沈したら二度と復活できないよ！

一時の感情でそんな判断を下すなら今すぐ提督を辞職するかも!!!

もし進撃したら私は貴方を絶対に許しません！

7：名無しの提督2016／02／25（木）10：40

艦娘を轟沈させた経験のある俺に言う資格は無いのかもしれない

が

『帰ろう、帰ればまた来られるからな』

8：◆新人提督2016／02／25（木）10：40

>>2・3・4・5・6・7

・・・すまない

みんな、そして秋津洲



俺どうにかしていたみたいだ  
何よりも艦娘が一番大切だよな  
ありがとう、撤退するよ

鎮守府に撤退してきた艦娘たち、夕立のぼろぼろになった姿を見て、提督は自分のしようとしていたことの愚かさを改めて自覚した  
悪魔の誘惑は誰にでも襲い掛かる  
進まない攻略、練度の低い艦娘、減っていく資材、一向に出現しない新艦娘、極度の疲労、様々な条件が重なり提督は追い詰められていく

指揮を行うのは自分一人、責任を負うのも自分一人  
誰も見ていないし口に出さなければ事実は露見しない

けれども『轟沈』があつたという事実は決して忘れることはできない

その事実は提督、そして艦娘たちの心から消えることは無い  
覆水は盆に返ることなく永遠に床に染みを残すこととなる  
もし悪魔の手に肩を叩かれたら、勇気を持って逃げ出すしかない  
臆病者だと言われようとも、大勢に罵られても、惨めに尻尾を巻いて逃げる勇気が提督の最も重要な資質である

提督は食堂に帰ってきた艦娘を集め、あの時自分が進撃しようとしていたことを正直に話した

激昂した長門に思いつき殴られ、地面に倒れ込み鼻から滴る血を拭いながら恐る恐るも艦娘たちを見上げると

予想に反してそこにあったのは軽蔑の視線ではなく、子供の犯した  
いたずらを寛容するような優しい目線であった

「お前だつて人間だ！判断を間違うときはある！もつと私達を頼れ  
！」

「些細なことでもいい！相談しろ！そして再び間違いを犯そうとした  
らもう一度ぶん殴つてやる！」

「自分一人で抱え込まないでください！練度の低い私達だつて提督の  
心の支えにはなれると思います！」

「そうデース！あまり考え込まずに疲れたらティータイムにするデー  
ス！」

「加古を見習つて下さい！作戦中だつて緊張感無く居眠りしてるんで  
すよ！」

「イベントごときで司令官が体調を崩したら本末転倒です！皆悲しみ  
ます！」

「みんな・・・ありがとう」

それから3日間、出撃は行わず体を休め、思い思いの時間を過ごし  
た

そしてイベント最終日

「みんな！泣いても笑つても今日で最後だ！無理せず悔いの無いよう  
に戦つてくれ！」

「勝ち負けなんてどうでもいい！ドロップ艦なんてどうでもいい！存  
分に楽しんで来い!!!」

「了解!!!」





666 : ◆新人提督2016/02/29 (月) 11:00

これからよろしくな! 秋津洲!

そしてよくやった!!! みんな本当にありがとう!

誰も犠牲にすることなく無事E-3を攻略できた!!!

よし鎮守府に帰って祝勝パーティーするぞ!

667 : 名無しの提督2016/02/29 (月) 11:01

おめ!!!

668 : 名無しの提督2016/02/29 (月) 11:01

よくやったな!!!

669 : 名無しの提督2016/02/29 (月) 11:02

時間ぎりぎりじゃねえか!

この野郎! はらはらさせやがって

.....

997 : 名無しの大将2016/02/29 (月) 11:43

ふむ、よくやった!!!

有望な若者がまた一人増えた

儂もうかうかしてられんな

998 : 名無しの元帥2016/02/29 (月) 11:44

そうじゃな

そろそろ儂は潮時かもしれん

未来は若い世代に託すとして

儂は隠居して盆栽いじりでもしようかのう

そうだ大将君、今夜一杯鳳翔さんのところでやらんかね？

999：名無しのザラ2016／02／29（月） 11：45

あ、やつと書き込めた！

グラーチエ！提督！

ザラ級重巡ザラです！

よろしくお願いします

あれ？・・・皆さん・・・もういない

1000：名無しの提督2016／02／29（月） 11：45

よし！1000なら資材は2万で十分！

（艦！）